

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2002 年 1 月 1 日 ～ 2023 年 12 月 31 日の間 に、 骨髄系悪性腫瘍 のために虎の門病院血液内科に入院・通院し、 同種造血幹細胞移植 を受けられた方

【研究課題名】

骨髄系腫瘍に対する初回同種造血幹細胞移植後再発症例の臨床像および予後予測因子の探索

【研究の目的・背景】

《目的》

骨髄系腫瘍に対する臍帯血移植を多く施行している当院のデータから実臨床において、有用なエビデンスを創出します。

《研究に至る背景》

骨髄系腫瘍に対する移植後再発の臨床像に関する先行研究はいくつか存在しますが、臍帯血移植のデータを含むものは少なく、また、近年の新規治療の発展を反映した研究は限られています。

【研究期間】

2026 年 9 月 17 日 ～ 2030 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、原疾患となる骨髄系腫瘍の診断およびリスク分類、既往歴および併存疾患、Performance Status

初回 allo-HSCT に関連する情報：移植時病期、前処置レジメン、ドナーソース、GVHD 予防法、移植経過中の血液データ

移植後の臨床経過：生着までの期間、GVHD や感染症などの有害事象の有無

再発時の情報：初回 allo-HSCT から再発までの期間、再発時の血液データ

再発後の情報：再発後の治療レジメン、2 回目以降の allo-HSCT の有無、最終転帰

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：血液内科 ・ 山本 久史

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026 年 12 月 31 日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 ・ 島田 智仁、山本 久史

電話 03-3588-1111(代表)